



## 目当てを持ちねばり強く取り組む子に

学校長 小紫 達矢

例年と比べ暖かい日が多かったように感じた11月でした。さすがに11月の下旬になると朝は随分と冷え込み、少し背中を丸め寒そうに歩いている子が少なからず見られるようになりました。校庭の桜やイチョウはすっかりと葉を落としましたが、ちらほらと冬に花が咲き始め校庭を彩ってくれています。

さて、先月に続き今月もスポーツネタです。現在、カタールでサッカーワールドカップが開催されています。毎日テレビなどで日々の結果を大きく報道しています。日本の入っている予選のグループの中で日本の大会前の世界ランキングは4チーム中3番目でした。そのため、開催前から予選の突破はなかなか厳しいだろうと言われていました。しかし、監督の森保さんはブレることなく、これまで日本が達成できていなかったベスト8を目標に掲げてチーム作りをしてきました。そして、開幕。日本の初戦11月23日ドイツ戦。優勝経験のある強豪国に逆転勝利!! 大変喜ばれた方も多かったことと思います。2戦目11月27日コスタリカ戦。コスタリカが放ちゴールに飛んできたシュートはたったの1本。その1本が決勝点になり残念な敗戦を喫してしまいました。



このサッカー日本代表のあゆみから子どもたちに学んで欲しいことがいくつもあります。私は特に次の2つのような子どもになって欲しいと思います。

1つ目は、しっかりと目当てや目標を持ってそれに向けて、可能な限りの準備や努力をする子になって欲しいということです。テストでいい点を取りたい、マラソン大会でいい順位になりたいといった小さな目標から、将来こんな職業につきたいといったずっと先の目標など、いろいろな目当て・目標にしっかりと向かって行って欲しいと思います。

2つ目は、目当てや目標がなかなか達成できなくても簡単にあきらめることなく、ねばり強く取り組むことができる子になって欲しいということです。精一杯努力し、準備をしていても目標を達成できないことは、残念ながら起こり得ます。サッカー日本代表のコスタリカ戦の敗戦もその一つです。ここでくじけていては、次戦の勝利は随分と遠のくでしょう。子どもたちだって自分の思い通りにならないことは何度も経験していると思います。そんな時簡単にくじけていてはその後の成長は厳しいものになると思います。

目当てを持ちねばり強く取り組む子になるために、私たち教員は学校で子どもたちを褒めたり励ましたりすることを繰り返していきます。保護者の皆様にもご協力よろしくお願いたします。

さて、12月2日は、みきっこマラソンとスペイン戦。それぞれの子もたちとサッカー日本代表の頑張りや満足な結果を期待しています。

